



群馬県立がんセンターだより

第29号

発行 平成27年6月 群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの意思を尊重するとともに地域と連携し、高度のがん医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利と意思を尊重します。
2. 地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
3. 教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

病院長就任挨拶

婦人科医としてがんセンターに赴任してから6年が経過しました。その間、東日本大震災の大揺れ、福島原発被災者の受け入れ、新型インフルエンザ対策での発熱外来の設置、歴史的な大雪での職員総力対応などを経験しました。

当センターは、東毛がんセンターの時代からすでに43年、新病棟が建てて8年、緩和ケア病棟ができてまだ2年目ですが、随分と様々なことを経験させていただいたと思っております。

当センターは立地条件から、群馬東部、埼玉北部、栃木南部からの患者さんを主に受け入れております。赴任以来大切にしてきたことは、患者さんご家族には十分なお説明を行うこと、ご納得いただいた上で同意をいただくことです。医療事故により医療不信が生まれ、医療経済的観点からの医療改革が推し進められ、医療者も医療を受ける国民も、変革を求められる時代に突入しています。病床の整理や地域包括医療制度もしかりです。

しかし、いつの時代でも、患者さんの意志を尊重し、ご家族も納得できる医療を提供することが医療の役目と考えています。安全で安心な医療が届けられたならば幸いです。

5月4日の連休中日、外来通院センターは定期的な化学療法をお受けになれる患者さんではほぼ満床、外来ブースでも外来診療部長らが診察をし、救急車も入り、当直医や各診療科の当番医が外来急患にも対応するなど、大忙し、がんセンターは急性期病院であると再確認した次第です。ガイドラインに沿った医療が患者さんにとって最善の医療であることが多いのですが、様々な進行情、合併症を抱えた患者さんひとりひとりへの最適な治療であるかどうかは不確実です。発展途上の研究的医療が、安全性と効果はもちろん、その方に最善のアウトカムを提供できるかどうかもわかりません。それ故に臨床試験があり医療は徐々にではありますが進歩を遂げているのです。医者というものは毎日そんなことを考えているのだとの、思いを寄せていただければ幸いです。

がん医療の王道は臨床試験だといえます。日本で行われている臨床試験の多くに当センターは参加しています。治療の選択肢は多く、医師任せの医療は時に不満と後悔を招きかねません。十分な説明を受け、ご理解をいただき、ご自身やご家族でご決断いただくことが必要です。その時間はありますし、そのお手伝いをする医師以外のスタッフもおります。決して一人で悩まれないよう、多くの職種がプロフェッショナルとして関わるチーム医療を実践して行きたいと考えています。

手術も真に低侵襲な手術を心がけ、また修練を行っています。一人でも多くの患者さんご家族の悩みに寄り添い、大切な患者さんをご紹介していただいた地域の先生方の信頼を得られるよう、また、お預かりした患者様を上手に治療してお返しできるよう努力して参ります。



院長 鹿沼達哉

新任医師紹介

皆さんこんにちは。4月より消化器外科にて勤務することとなりました田部雄一と申します。

平成14年に昭和大学医学部を卒業し、群馬大学病態総合外科（第一外科）に入局させていただきました。

がん治療に特化した職場で仕事をさせていただくことになり、より深く患者様の人生に足跡を残す仕事をして行くということに大きな責任を感じております。不慣れな点も多くご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒宜しくお願いいたします。



消化器外科
田部 雄一

4月より呼吸器内科に赴任いたしました今井久雄です。

前橋市出身で医師免許取得後、群馬大学第一内科に入局しその後、前橋赤十字病院、富士重工業健康保険組合総合大田病院、国立病院機構西群馬病院、群馬大学大学院、群馬大学医学部附属病院、伊勢崎市民病院を経てその後は静岡県立静岡がんセンター呼吸器内科にがん薬物療法修練医を経てスタッフとして3年間勤務いたしました。

静岡がんセンターで培った経験も活かし少しでも早く皆様に貢献できるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



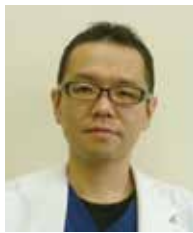
呼吸器内科
今井 久雄

4月より泌尿器科で勤務することになりました。

群馬大学を卒業し、関連施設で研修をさせていただきました。

がんセンターの医療に少しでも貢献できるよう努力していきたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。



泌尿器科
村松 和道



4月より婦人科で診療をさせていただきました西村俊夫と申します。

生まれは群馬県で、H18年に群馬大学を卒業後、群馬県内で産婦人科として研修させていただきました。昨年は群馬大学医学部付属病院で婦人科を専門に仕事を行ってきました。

まだまだ不慣れな点も多く、皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、一人一人の患者さんに真摯に向き合って診療を行っていきたく思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



婦人科
西村 俊夫

今年度より頭頸科に赴任いたしました井田翔太です。

平成24年に群大医学部を卒業、伊勢崎市民病院にて初期研修を行い、群大耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局しました。

一年間の大学勤務の後、当院で働かせていただくこととなりました。

出身は前橋市で、地元群馬県の医療の発展に少しでも貢献できればと思っています。至らないことも多いと思っておりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

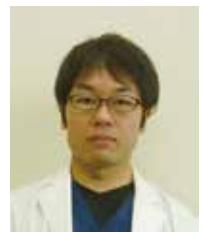


頭頸科
井田 翔太

4月より泌尿器科に赴任いたしました大澤英史と申します。

桐生市の出身で前橋高校、杏林大学医学部を卒業後、地元群馬に戻ってまいりました。

群馬大学・桐生厚生での初期研修を終え泌尿器科医としての生活をスタートしたばかりの身で、まだまだ未熟ですがたくさんのごことを経験し成長していけたらと思います。



泌尿器科
大澤 英史



部署紹介

リハビリテーション課

2010年の診療報酬改定で「がん患者リハビリテーション料」が新設されてから5年が経過し、「がんのリハビリテーション」に対する認知は飛躍的に向上しています。そして、第三次群馬県県立病院改革プランの基本方針の医療サービスの向上に「リハビリテーションの充実」、当センターの具体的な取組みに「がんリハビリテーションの推進」があげられています。これらの方針に基づき、今年度、技術部に新たに「リハビリテーション課」が設置され、理学療法士2名、作業療法士1名の療法士3名体制に強化されました。

また、緩和ケア病棟の2階にリハビリ室が設置され、トレッドミルやエルゴメーターなど各種リハビリ機器が整備されました。東、西、北面を窓で囲まれた眺望の良い明るいリハビリ室で、療法士の指導のもと、入院患者様が安全・快適にリハビリテーションを受けることができます。



リハビリスタッフ



リハビリ室

がん患者に対するリハビリテーションの特性として、がん自体が直接、体力低下や機能障害を引き起こすことに加え、手術・化学療法・放射線療法等のがんの治療によっても合併症が起こることから、治療後に起こりうる障害を見越した治療前からのリハビリテーションが重要とされています。これが実現可能な施設基準は「がん患者リハビリテーション料」で、現在、医師、看護師、理学療法士、作業療法士のチームで、がんのリハビリテーション研修受講を計画中で、受講後に施設基準を申請する予定です。

また、現在いくつか病棟のカンファレンスに参加させていただいておりますが、これに加えてリハビリカンファレンスを開催する予定で、多職種連携によりリハビリテーション計画を作成し、患者様に安全かつ有効なリハビリテーション医療を提供することを目指し、実践して参ります。

今後の課題として、現行の理学療法と作業療法に加え、舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がんに対する発声や嚥下の訓練、転移性脳腫瘍の患者さんの構音障害に対する訓練など、当センターにおけるコミュニケーション障害に対するリハビリテーションと、摂食嚥下リハビリテーションの必要性を検討した上で、言語聴覚士の人員確保を検討したいと考えています。

PT、OT、STの業務	
職 種	主 な 業 務
理学療法士 (PT)	基本的動作練習、呼吸リハ
作業療法士 (OT)	日常生活動作練習、認知リハ
言語聴覚士 (ST)	言語リハ、摂食・嚥下リハ

外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成27年6月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 藤本 栄 (午後/禁煙外来)	湊 浩一		今井 久雄	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 泰 田部 雄一 小川 敦
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 喜多 秀文		藤田 敦
		形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎 (ストマ外来)
第二外来	婦人科	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二	中村 和人 伊吹 友二		中村 和人	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二	
	歯科口腔外科	新垣 理宣		新垣 理宣		新垣 理宣	
	頭頸科	鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)		鈴木 政美 江口紘太郎 (午前再診)	
	麻酔科	高橋 利文			家島 仁史		
	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	清水 信明 村松 和道 泌尿器科医師 (午後、新患のみ)		蓮見 勝(午前) 村松和道(午前)	清水 信明 蓮見 勝	
			(1日リンパ外来)				
				緩和ケア外来*		*当面、内部の患者のみが対象です。	
放射線科	放射線	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	江原 威 工藤 滋弘 安藤 謙	

平成27年度「NST 専門療法士臨床実地修練」実施のご案内 (NST 専門療法士受験資格に必要な40時間の研修)

当センターは、日本静脈経腸栄養学会から「NST 専門療法士認定教育施設」として認定されています。27年度は、11月に実地修練研修を行う予定です。
応募方法など、詳しい内容は当センターのホームページをご覧ください。

当センターは「完全紹介予約制」です。

初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。

また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

予約専用電話：0276-38-0762

電話受付時間：9:00~17:00 (休診日を除く)

※ただし、診療を希望される前日の13時までに連絡してください。

休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

群馬県立がんセンター
Tel: 0276-38-0771 (代表)

群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL **0276-38-0771** (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>



外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成27年2月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之		野川 秀之	山下 哲	保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦 入沢 寛之	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 藤本 栄 (午後/禁煙外来)	湊 浩一		三浦 陽介	
	外科	消化器	福田 敬宏	福田 敬宏	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 彰彦 佐野 小川	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 彰彦 佐野 小川	尾嶋 仁 深井 康幸 持田 彰彦 佐野 小川
		乳腺	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	柳田 康弘 藤澤 知巳 宮本 健志 森下亜希子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田 康弘 (遺伝)
		呼吸器			藤田 敦 喜多 秀文		藤田 敦
※金曜 ストマ外来	形成	廣瀬 太郎				廣瀬 太郎	
	婦人科	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 小暮佳代子	中村 和人 伊吹 友二 小暮佳代子		中村 和人	鹿沼 達哉 中村 和人 伊吹 友二 小暮佳代子	
第二外来	歯科口腔外科	山根 正之 新垣 理宣		山根 正之 新垣 理宣		山根 正之 新垣 理宣	
	頭頸科	鈴木 政美 川田 倫之 (午前再診)		鈴木 政美 川田 倫之 (午前再診)		鈴木 政美 川田 倫之 (午前再診)	
				鈴木 政美 川田 倫之 (午後新患)	鈴木 政美 川田 倫之	江口紘太郎 (午後新患)	
	麻酔科	高橋 利文			猿木 信裕		
※火曜 1日リンパ外来	泌尿器科	清水 信明 蓮見 勝	清水 信明 濱野 達也		蓮見 勝(午前) 濱野達也(午前)	清水 信明 蓮見 勝	
		泌尿器科医師 (午後、新患のみ)	泌尿器科医師 (午後、新患のみ)				
放射線科	放射線	江原 威・工藤 滋弘・安藤 謙					

冬季流行感染症 (インフルエンザ・感染性胃腸炎) の感染防止のお願い

- * 冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行しやすい時期です。感染症の持ち込みを防ぐため、お急ぎでない場合には、面会をお控えください。
 - * 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、嘔吐、下痢などの症状がある方、冬季流行感染症にかかってから1週間未満の方、抵抗力の弱い子供さん(12歳以下)の面会をご遠慮ください。
 - * 来院の際は、手指消毒をお願いします。また、咳、のどの痛み、鼻水などの症状がある方は、マスクを着用してください。
- 〈ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします〉

診察予約 (初診、再診ともに予約制です。)

- 初診紹介予約制について
当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時を予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。
 - がん検診について
当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っていません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってあります。
- 予約電話 0276-38-0762**
- 受付時間：午前9時から午後5時(休診日を除く)
 - 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までにお願います。
- ※ 休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分～午後7時30分

群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL **0276-38-0771** (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

